



滝澤 健雄
ミツフ電機
取締役社長

青森ねぶた祭の魅力

東北三大祭りと言われている「青森ねぶた祭」が、毎年8月2日～7日の6日間に行われます。この6日間に、毎年約300万人の観光客が訪れます。

「青森ねぶた祭」の魅力は多くありますが、何と言っても「大きなもので高さ5m～6mにもなるねぶた」と「周りを囲むハネト」の迫力と熱気にあります。ねぶたの迫力を、さじき席や沿道で見て楽しむのも良いですが、さらに楽しむ方法は、自らが、「ハネト」になって参加し、「ねぶた」の周りで、鈴の音を鳴らしながら、「ラッセラー！ラッセラー！」の掛け声を掛けながら、跳ねて参加することです。「ハネト」は、「青森ねぶた祭」には欠かせない存在であり、「ハネト」の正装を着ていれば、誰でも自由に参加できます。

「青森ねぶた祭」も、新型コロナウイルスの影響で、2020、

2021年は中止となり、2022年に3年ぶりに開催されましたが、「ハネト」も、事前申請者の中から抽選で絞り込んだ約8,300人（2019年は、約10万2,000人）と、制限がある中で行われ、2023年は、新型コロナウイルス以前の「青森ねぶた祭」に戻ることが決定されています。

私は、2010年から2019年まで毎年、「青森ねぶた祭」に「ハネト」として参加し続けていましたが、残念ながら2023年は参加できません。2024年には、また「ハネト」として参加して、あの迫力と熱気を感じることを、今から楽しみにしています。

日本全国各地に、さまざまなお祭りがあり、それぞれの良さがあると思いますが、機会があれば、ぜひ、「青森ねぶた祭」に、「ハネト」として参加することをお勧めします。



「ハネト」になってねぶたに参加（筆者中央）